

開催案内

マンスリーセミナー

397	6/21 (火)	光信号処理技術の光通信・集積化への展望	東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 教授 植之原 裕行 氏
(内容) 実用レベルでチャネルあたり 100 Gbps、ファイバあたり 10 Tbps を超えてきた光ファイバ通信技術においては、光の性質をフルに活用することによって周波数利用効率の向上と効率改善を実現し、更なる発展を目指している。また、データセンタのような大量のデータを低遅延で処理する領域への展開のため、高密度実装・低コスト化が可能な光デバイスの実現も急務となっている。本講演では、光ノード装置の最近の研究動向・シリコンフォトニクス技術の進展を例に、講演者本人の光信号処理の検討状況も交えながら今後の研究動向の理解を深めたい。			
398	7/19 (火)	蛍光・化学発光タンパク質を利用した生理機能の可視化	大阪大学 産業科学研究所 生体分子機能科学研究分野 教授 永井 健治 氏
(内容) 蛍光バイオイメージングは、生命科学研究に革命をもたらした。しかし、光毒性や予期せぬ生理反応を引き起こしかねない励起光照射が必須であるため、あらゆる生命現象の観察に応用できるわけではなかった。一方、化学発光は励起光照射の必要がないことから、蛍光観察に付随する問題を回避できる。本セミナーでは、単一細胞から小動物個体レベルまでの様々な空間階層におけるバイオイメージングを可能にする高光度化学発光タンパク質を紹介し、バイオイメージング法の展望を述べる。			
399	8/23 (火)	青色LEDの開発と今後の展望	豊田合成株式会社 特任顧問 太田 光一 氏
(内容) 豊田合成は、赤崎教授、天野教授のご指導の下、1986 年より青色 LED の研究開発に着手し、1995 年から製品の量産化を開始した。そして、2014 年に「高効率な白色照明を可能にした青色 LED の発明」に対し、両教授にノーベル賞が授与された。ここでは、ノーベル賞の授賞式の様子や対象発明の概要を簡単に紹介すると共に、青色 LED 開発の歴史、活用状況、今後の展望について解説する。			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3 番出口）
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7 階
時 間：午後 3 時 30 分～5 時 30 分
定 員：60 名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500 円（1 回につき・消費税込）
一般参加：3,000 円（1 回につき・消費税込）
申 込 先：光産業技術振興協会 開発部 間瀬
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp